

# 第151回マイスターネット講演会

## シニアパワーの反攻-1

平成31年3月16日

NPO法人マイスターネット

リーダーシップ研究アカデミー

(一社)住みよい町さむかわにする会

橋本壽之

# 現状とシニアの役割

- 少子高齢化、右肩下がりの 経済成長、閉塞社会を生んだ原因は、シニア世代が過去にしてきたことの結果、他人事ではすまされない。
- シニアには現状を改善する責任がある。
- シニアの活動が自画自賛、空振りに終わることなく、社会の発展に寄与できるようにするにはどうしたらよいのだろうか。

# 伊能忠敬

- 1745年千葉に生まれる
- 1794年隠居(50歳)
- 暦学、天体観測を勉強
  - 奥州街道一蝦夷地を皮切りに全国を測量
- 1818年死去(74歳)

# 封建制度の推移

- 昔：生まれた時点で身分は固定
- 近代：学校卒業、就職時点で身分固定（終身雇用）
- これから：身分固定からの解放（正規/非正規、フリーランス、転職、グローバル化）

# 英米と日本のNPO比較(1)

- サッチャー首相は、国の財政赤字をなくすために福祉を犠牲に、経済の立て直しに成功。社会的弱者にしわ寄せが及ぶと、社会起業家が立ちあがった(今(2008)p.14)。
- 「事業とその利益によって社会問題を自ら解決する」(駒崎(2009.4)p.33)。

# 英米と日本のNPO比較(2)

- アメリカのNPOは、政府の手が届かない分野、民間が経済効率の点で手を伸ばそうとしない分野に進出。民間から経営手法を学び、儲けることにより活動の持続性を可能にした。
- 日本のNPOは、「ボランティア幻想を捨てよう」。「政府」、「民間」、「NPO」が三位一体になれば、豊かな成熟社会に入ることが出来る。

(跡田直澄(2005)pp.26-27)

# 利益の在り方



# 何をやるか：需要と供給

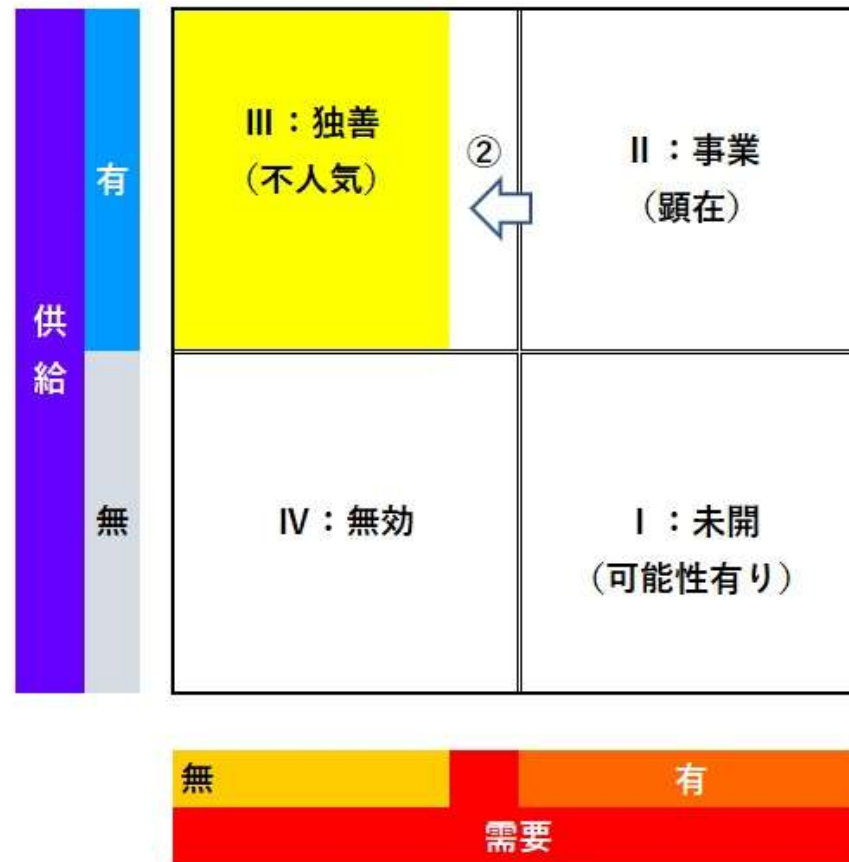




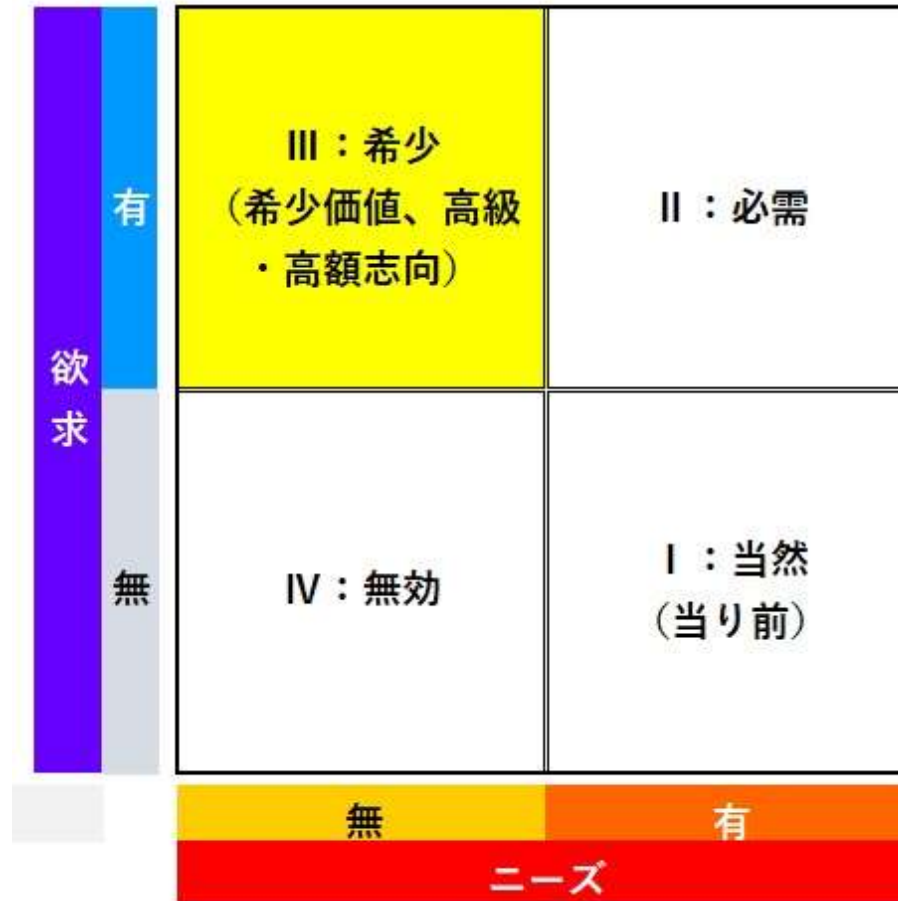
# 改善1：未開拓分野への進出



# 改善2：需要の掘起し



# 解決の模索



# 参考文献

- 今一生(2008)『社会起業家に学べ!』東京:アスキー・メディアワークス
- 駒崎弘樹(2009.4)「行政の無理解にめげずに病児保育拡大させ母親を支援」『週刊ダイヤモンド:社会起業家たちの挑戦』2009.4.11号、pp.32-34、東京:(株)ダイヤモンド社
- 跡田直澄(2005)『利益が上がる!NPOの経済学』東京:(株)集英社